



せせらぎ

令和7年8月27日
富士市立原田小学校
学校だより 9月号

(令和7年度 重点目標) みんなのために 自分のために

新たな気持ちで 学校再開！

夏休みが終わり、学校に元気な子供たちの姿が戻ってきました。小麦色に日焼けをした子がいたり、夏休みにした経験を話してくれる子がいたり、課題や宿題で頑張った作品を見せてくれる子がいたり、子供たちはそれぞれよい夏休みを過ごしたことが分かりました。ただ、中には、「今朝、起きるのがつらかった。」と眠そうに話している子も見られました。長かった夏休みから学校のある生活に切り替えるのは、なかなか難しいかもしれませんが、早く規則正しい生活習慣を取り戻して、元気に登校できるようにしてもらいたいと思います。



目標をもって頑張ることの大切さ

25日の朝礼では校長先生が、「紹介したいひと」についてお話してくださいました。紹介して下さったのは、この夏の甲子園で活躍した県立岐阜商業高校の横山 温大（よこやま はると）選手でした。横山選手は、生まれつき左手の指がありません。このようなハンディキャップを負っていても本人のたゆまぬ努力で、名門校でスタメンを勝ち取り、甲子園の舞台で大活躍をしました。横山選手のプレーする写真をプレゼン資料に映しながら、守備をする時には右手で捕球した後に素早くグローブを外して右手で送球する様子や、ミートの瞬間までバットに左手を添えて当たった後は右手1本で押して打つバッティングの様子などを紹介くださり、ハンデがある中でもいろいろな工夫をして健常の選手に劣らない活躍をしたことを教えてくださいました。そして、校長先生はその横山選手にも目標とする人がいたことを話されました。それは、右手首から先が無かったにもかかわらず大リーグで活躍したジム・アボット選手です。横山選手は、自分と同じようなハンデをもつアボット選手が大リーグで活躍したことを知り、彼を目標に自分の夢に向けて頑張ったということでした。校長先生は、横山選手を紹介することで、自分なりの目標をもって努力を続けたり、あこがれの人を見付けたり、感動を得られるものと出会ったりすることの大切さを伝えてくださいました。



自然災害について考えさせられる夏休みでした

夏休み中の7月30日には、ロシアのカムチャツカを震源にしたマグニチュード8.7の大地震が起きました。それによって、日本の太平洋側の地域に津波警報が発令され、一時はどうなることかと不安な気持ちになった方も多かったかと思います。市内の学校でも、避難所になって地域の方々が避難してきたところも数校ありました。また、九州や東北地方では大雨が降り、川が氾濫したり自宅が水に浸かったりと大きな災害に見舞われた地域もありました。富士市は幸いにして、夏休み中大きな災害が訪れることはありませんでしたが、いつ自分たちの住む地域に地震や洪水などの災害が訪れてもおかしくはありません。9月1日は、学校のある日ですが「防災の日」とされています。この機会に、学校や自宅、登下校中などに災害が発生したと場合を想定して、いざという時にどのように行動をすべきか、どのように自分の身を守るべきかについて、ご家庭でもお子さんと話してみてください。

新任教員着任のお知らせ

8月25日より、原田小に新しい先生が着任されました。石川 尚美（いしかわ なおみ）教諭です。吉原三中にも勤務されていた経験豊富な先生です。3年生以上の音楽や、特別支援学級（4・5組）の理科や図工などを担当します。これから、よろしくお願いします。

また、3年2組担任の坂入 慶樹（さかいり よしき）教諭が夏休み明けより育児休暇に入った関係で、杉澤 莉紗（すぎざわ りさ）教諭が今後、3年2組の担任を務めます。3年生のことをよく分かってくださっている先生です。3年2組の皆さんは、これまでと変わらず安心して過ごしてくださいね。

（裏面もご覧ください）